

1 検討会について

1 トイレの整備・適正利用ハンドブックの策定

- 検討会を設置し、検討会の意見を踏まえて策定する。

2 委員の構成

- 学識経験者
- 障害当事者（肢体・聴覚・視覚障害）
- 事業者（建築関係）
- 行政：兼務課長、福まち課長

3 検討会の運営

- 令和3年度中に3回の検討会の開催を予定
- 策定に際しては、現地調査を行うこととし、必要に応じて、利用者特性ごとのグループからヒアリングを行うなど、当事者からの声を反映したものとす。

3 利用者アンケート調査について

1 趣旨

- 障害者や子育て世代等の様々な特性を持つ方が、外出時に公共交通機関・商業施設・公共施設等のトイレを利用する際に感じる困りごとを把握するため、アンケート調査と必要に応じてヒアリングを実施

2 対象

- ・認知症関連団体
- ・性的少数者（性的マイノリティ）関連団体
- ・子育て関連団体
- ・肢体不自由者関連団体
- ・聴覚障害者関連団体
- ・視覚障害者関連団体（盲ろう者関連団体を含む）
- ・オストメイト関連団体
- ・内部障害者関連団体
- ・発達障害者・知的障害者関連団体
- ・精神障害者関連団体

2 ハンドブックの構成（案）

1 基本的考え方

- 多様な利用者が同時に使えるよう機能分散を図り、個別の機能を表示

2 機能分散を図った整備の事例

- 車椅子利用者用便房を可能な限り独立して設ける
- 男女共用便房を別途設ける（異性介助、性的マイノリティ等）
- 一般便房に分散させる（オストメイト設備、乳幼児用設備等）

3 わかりやすい表示等を行った情報発信の事例

- ピクトグラムを便房の入口に掲示
- イラストの活用などによる誰でもわかりやすい操作・利用方法
- 視覚障害者への配慮（音声案内等）
- 近隣のトイレの情報も発信

4 適正利用の推進に向けた普及啓発の事例

5 参考資料

各種法令、JIS規格（トイレのボタン、ピクトグラム）



4 好事例調査について

1 趣旨

- ハンドブックでの取組事例（好事例）紹介のため、都内の施設において近年整備されたトイレ事例のうち、特定のトイレへの利用集中や利用者の困りごとが解消されるような取組が行われている事例を収集

2 収集方法

- 事業者団体等連絡協議会、障害等当事者団体、有識者、行政等より好事例を御紹介いただく

3 御紹介いただきたい事例

- 別紙依頼文のとおり